

施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課：生涯学習課

施策名	人権
政策名	「まち」を共に創る
施策がめざす将来の姿	・互いを認め合い、尊重し合うことにより、あらゆる差別のない社会が実現しています。

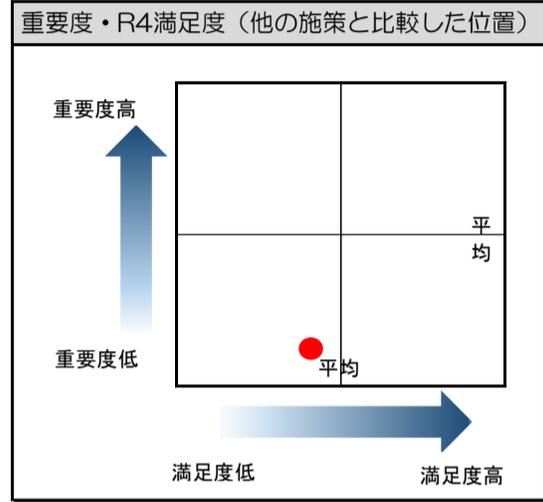
2 施策評価指標

成果指標名	単位	基準	令和4年度目標	令和9年度目標	
人権講演会への参加者数	人	200	220	240	
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	350	220	—	55	65

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（％）
令和3年度
98.6

満足度（満足している市民の割合）／単位（％）		
令和3年度	 DOWN	令和4年度
95.2		93.1



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

人権にかかわる問題は、社会の変化とともに様変わりし、尽きることはありません。市民が感じる重要度、満足度は数値的には高いものの年々減少傾向にあり、課題解決に近づけるよう啓発活動を継続する必要があります。今年度の啓発重点目標「「誰か」のことじゃない」にあるように、人権問題は自分事であることを意識し、互いを認め合い、偏見や誹謗中傷が起こらないよう、テーマや啓発機会を工夫して取り組みます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業名①：人権教育啓発推進事業

R4決算額 （千円）	重点化（縮小）する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
1,401				人権擁護委員の皆さんとともに、人権推進校への重点的な働きかけと、市民に伝えたい人権の観点を絞るなど吟味しながら、伝えるための方法を工夫し、講座や啓発活動を継続していきます。	